

# 施策評価表

1次評価日（課長等） 26年 10月 10日

2次評価日（部長等） 26年 10月 10日

## 1 施策の概要

施策名	廃棄物対策の推進	コード	8-1
この施策の主な内容（細施策）	①廃棄物適正処理の推進		
第4次総合計画におけるこの施策の目的	持続可能な循環型社会の実現を目指して、市民、事業者、行政が一体となって3Rの推進を図り、廃棄物の適正な処理に努める。		
担当部課	部 市民環境部	課等 環境課	作成者 小口智弘

## ●施策の実施内容（D0）

### 2 施策指標の達成状況

\*第4次総合計画における目標指標の達成状況（最終年度：25年度）

施策指標名	単位	23年度	24年度	25年度		26年度	27年度	
		実績値	実績値	目標値	実績値	達成率	目標値	目標値
① 可燃ごみ量の推移	t	10,987	11,017	10,967	10,834	98.8%	10,983	10,743
指標説明	ごみの排出抑制と資源化の推進により、ごみ減量を図る。家庭系、事業系を合わせた可燃ごみの総量							
② 一人1日当たりの生活ごみ排出量	g	427	429	425	426	100.2%	420	416
指標説明	ごみの排出抑制と資源化の推進により、ごみ減量を図る。（家庭系可燃ごみ+家庭系不燃ごみ）÷人口÷365日							
③ 資源化率	%	29	28	31	26	83.9%	34	36
指標説明	ごみの排出抑制と資源化の推進により、ごみ減量を図る。総ごみ量に占める資源物の割合							

### 3 施策全体にかかる合計コストの推移

\*項目6より「直接事業費」「人件費」の合計を自動表示

単位：千円

	23年度	24年度	25年度	26年度（予算）
直接事業費	402,086	396,573	410,784	453,084
人件費	53,600	137,800	66,030	32,800
合計コスト	455,686	534,373	476,814	485,884

## ●施策の評価（CHECK）

### 4 施策の現状評価

\*25年度に施策の目的がどこまで達成できたか、施策の進行状況に関する順調／不調の判断

廃棄物の処理は適正に行われている。  
3Rの推進では、H22年4月より、家庭ごみ有料化、その他プラスチックの分別回収、生ごみの拠点回収の拡大が行われ、1年目は、可燃ごみ量は大幅な減量となった。しかし、有料化2年目以降、ごみ減量や排出抑制に対して高まった意識が薄れたことからごみ量が微増傾向となった。しかしながら4年目は清掃工場が解体となり、可燃ごみを市外へ運搬して処理する状況の中、減量に転じた。引き続きごみ減量に対する市民の意識効用を図った。

\*岡谷市の現状のうち、この施策にとって強み／弱みとなる要因

岡谷市の強み	衛生自治会との連携
岡谷市の弱み	特になし

### 5 今後の外部環境の変化

\*27年度以降に予測される社会・経済などの環境変化のうち、この施策に具体的に影響する要因

有利に働くもの	湖周クリーンセンター建設に伴う、市民のごみ減量への意識の高揚
不利に働くもの	特になし

●改善の内容 (ACTION) / 次年度の計画 (PLAN)

6 平成27年度 施策を構成する事務事業の方向性

●基本的な考え方

\* 優先して実施する分野＝優先度がA・Bの事業：拡大する事業や新規事業の内容、優先的に実施する理由  
 \* 見直しを行う分野＝優先度がC・Dの事業：見直しの内容、見直しや廃止をする理由

優先して実施する分野	可燃ごみ、不燃ごみともに減少傾向となったが、資源物の無料回収ボックスの設置等により、資源物の量も減少となっているため、資源化率が下がっている。
見直しを行う分野	平成28年9月の「諏訪湖周クリーンセンター」稼働に向け、ごみ減量へ「まったなし」を共通のキーワードとして、市民のごみ減量意識の高揚を図る。また、「小型家電リサイクル試験回収」を継続実施し、更なるリサイクルの推進を図る。

●27年度の優先度

\* 事務事業の方向性が「継続」の事業についてA～Cにランク付け  
 A：拡大、B：現状維持、C：見直し、－：廃止・完了・統合

直接事業費・人件費の単位：千円

No	新規事業	様式	実施義務	事務事業名	指標名	単位	成果指標				妥当性	方向性	優先度
							直接事業費		人件費				
							23年度	23年度	23年度				
							24年度	24年度	24年度				
							25年度	25年度	25年度				
							26年度	26年度	26年度				
1	一般	あり	あり	ごみ減量啓発指導事業	ごみ量	kg	15,664,081	11,191	10,400	高い	継続して実施	B：現状維持	
							15,530,307	9,800	9,600				
							14,737,442	20,368	11,600				
							17,792,900	26,324	11,600				
2	一般	あり	あり	資源物回収事業	資源化率（リサイクル率）	%	29	57,847	9,600	高い	継続して実施	B：現状維持	
							28	55,474	9,600				
							26	53,859	7,200				
							35	68,786	7,200				
3	内部	あり	あり	塵芥収集事業	—	—	—	46,193	8,000	高い	継続して実施	B：現状維持	
							—	46,281	8,000				
							—	49,233	3,200				
							—	60,613	3,200				
4	一般	あり	あり	塵芥収集指導・啓発事業	違反シール貼付等に対する指導件数	件	11,147	2,806	10,000	高い	継続して実施	B：現状維持	
							10,079	1,532	96,600				
							6,303	1,099	28,830				
							5,678	1,366	6,800				
5	公共施設	あり	あり	焼却施設管理事業	施設稼働率	%	—	229,591	12,000	—	25年度末廃止	廃止	
							—	204,606	9,600				
							—	88,882	8,800				
							—	0	0				
6	公共施設	あり	あり	埋立施設管理事業	施設稼働率	%	—	54,458	3,600	標準	継続して実施	B：現状維持	
							—	22,627	1,600				
							—	19,410	800				
							—	17,692	800				
7	建設	なし	なし	湖周地区ごみ処理施設整備事業	進捗率	%	0.0	0	0	高い	継続して実施	A：拡大	
							3.7	56,253	2,800				
							15.5	177,933	5,600				
								278,303	3,200				
8													
9													
10													